



ぬくもり

[平成27年6月15日発行]

輝く人とまち 人 つながる可見 —「参画」と「協働」による“市民中心のまちづくり”

命のよびごえ

赤ちゃんの誕生・成長
赤ちゃん、生まれて3ヶ月だよ!

初登校の日
元気に行っちゃっしょ!!

田植えの日
「稲の育ては、命の育て」(東明小・年中行事)

姉と買い物
姉ちゃんアし買ってね!

目次

- 募集—ぬくもり人権啓発「標語と300字小説」..... ①
- 平成27年度の活動と26年度報告のあらまし..... ②
- 市民人権意識調査報告(概要)..... ③
- コーナー..... ④

● 心のドア ~真のこととは?~ ● 可見ぬくもりネットだより(心の響き) ● ぬくもり・まゆちゃん®・他

募集

第15回

ぬくもり人権啓発
「標語と
300字小説」

テーマ

「道徳」善悪・正邪等に
対しての、人としての
ぬくもりを感じられる
文面と言葉(小説は会
話をいれること)

応募資格

市内在住の人
(小中学生(高一級)

応募方法

はがきの表に住所・氏
名・電話、裏に作品(小
説1点、標語2点まで)

応募締切

9月10日(消印有効)

入賞作品数

標語約30点・小説約7
点

入賞発表

11月初旬本人通知
(小中学生は、学校か
ら)

作品展示(入選)

人権週間(12月5日~
10日)

市図書館等で展示
また機関紙「ぬくもり」
等に掲載

*入賞者には、表彰状と
図書券を贈呈

*小中学生は全て(応募
)学校から

あて先

本センター宛(本表紙
ご参照)

平成27年度の活動と26年度報告のあらまし

目標 啓発人口 8,000名／年
(本センターの活動に関わり合った人数)

重点

「和み・生きあつての育み」・
「たたえ合いの心」を!
(企業・外国人と子どもの人権教育の充実)

理念 人は差異・多様ゆえに認め、学び合う人間主義で!

～大人たちのぬくもりある自覚から～
未来ある子どもの育みを!!





特集

市民人権

意識調査報告(概要)



平成26年度
共同調査部署
(市)人づくり課

あらし ご回答者の方にお礼申し上げます

- ①目的:平成3年から約4年に1度、市民の人権意識の推移と新たな人権につき調査し、公的機関等の事業への活用を図る。
- ②調査期間:平成26年8月1日～15日

- ③調査対象者数:
市民:1,000人(男500人・女500人)(20歳以上)
- ④回答者数:男165人・女241人 計409人
(回答率) (33.0%) (48.2%) (40.9%)

調査項目 16問

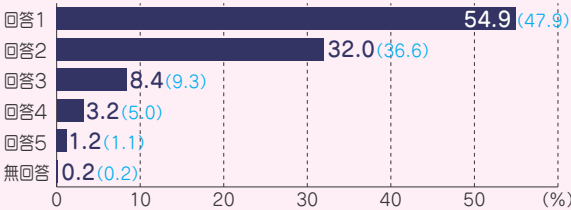
- ①男女差別 ②いじめ ③高齢者 ④障害者 ⑤同和問題 ⑥同和問題解決 ⑦外国人(1) ⑧外国人(2) ⑨HIV・エイズ等
- ⑩更生保護 ⑪インターネット ⑫DV・セクハラ・パワハラ ⑬思いやりの心 ⑭人づくり ⑮人権尊重 ⑯性別・年齢

主な結果 ()値:前回値(22年度)

質問2 「いじめ」について

問 子どもたち同士の「いじめ」によって「仲間はずれ」にされたり、時には「自殺」にまで追いやられたりする事件が起きています。「いじめ」について、あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

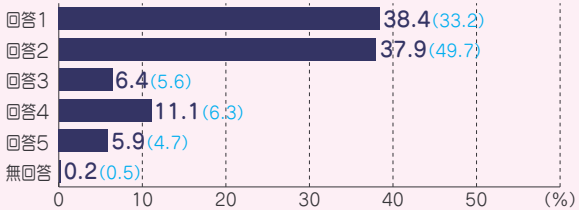
1. 「いじめ」は、人間として恥ずかしい行為であり、許されない。
2. 「いじめ」は、人の心や体を傷つける行為であり、やめた方がよい。
3. ひどい「いじめ」はよくないが、ささいなことなら気にしない方がよい。
4. 「いじめ」を受ける子にも原因がある。
5. わからない。



質問11 インターネットによる人権侵害について

問 インターネット(パソコンや携帯電話)の普及に伴い、これらを悪用した人権侵害(差別、偏見、誹謗、中傷、他人に知られたくない情報を流すなど)が多くなっています。これらを無くすための方法について、あなたの考え方に近いものを1つだけ選んでください。

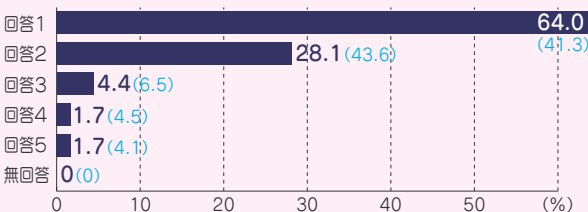
1. 学校教育や家庭の中で、インターネットで行ってはいけないことを十分に教えること。
2. インターネット企業での自主規制、法律による規制などを強化すること。
3. 被害者の相談体制や救済制度を充実すること。
4. インターネットや表現の自由にもかかわる問題であり、慎重な対応が必要。
5. わからない。



質問12 DV(ドメスティックバイオレンス)やセクハラ(セクシャルハラスメント)、パワハラ(パワーハラスメント)による人権侵害について

問 DV(家庭内や夫婦、恋人間等に起こる暴力)や、セクハラ(性的いやがらせ)やパワハラ(上司によるいやがらせ)について、あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

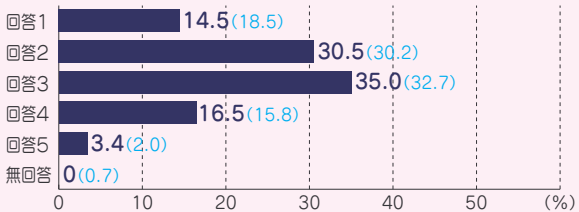
1. 「DVやセクハラ、パワハラ」は、人として許されない行為である。
2. 「DVやセクハラ、パワハラ」は、人の心や体を傷つける行為であり、やめた方がよい。
3. ひどい「DVやセクハラ、パワハラ」はよくないが、ささいなことなら気にしない方がよい。
4. 「DVやセクハラ、パワハラ」を受ける人にも原因がある。
5. わからない。



質問15 人権の尊重について

問 あなたは、日ごろの生活の中で、互いの違いを認め合い、相手の立場を尊重するなどの「人権の尊重」について身近に感じていますか。あなたの感じ方に近いものを1つだけ選んでください。

1. 非常に身近に感じている。
2. 少し身近に感じている。
3. どちらともいえない。
4. あまり身近に感じていない。
5. まったく身近に感じていない。



考察 H22・H26との比較では、質問12の回答1+2は84.9→92.1と、+約7ポイントとなり理解度が増しました。

報告冊子希望者:6月30日までに本センターへお電話下さい。 ☎0574-63-7990

new
夏らしいとはいふ
アツク

集団登校の風景の中に

風景の中に

★新緑に朝陽がまぶしい日、一人二人と元気に集まる子どもたち。

旗を持つ6年生の新米リーダーが、「早く来ないかなあ」とつぶやきながら、後ろの方を「キヨロ、キヨロ」見ている。

やがて、少し遠くから小走りになる少年が見える。リーダーの顔がほころび「早く早く」と声をかける。その少年は、今年入学した康男である。幼い顔が汗で光っている。

★リーダーが言う、「おい、この子のランドセルも持っていない。」

集団の中で力強そうな男の子、憲一に命令する。憲一は、このときすでに、足を少しケガした女の子のランドセルを持っていたのだった。

さらに持ってやれと言われ、両手に持ちにくそうに抱えていたが「いや」とは言わなかった。

「急げ、遅刻するぞー!」リーダーは旗を掲げ状況を見ながら、先頭を早足で歩く。憲一は、一番後から歩く。

★それを遠くで見えていた近所のお母さんがいた。両手にランドセルを抱えている少年が「いじめられている」と思い、気を病んだが、事実が分かり心温かくなった。

★そして康男の遅刻の原因は、お母さんが病気のため入院し、お父さんがなれない朝食をつくっていたためである。

★その日から3日間、憲一は何も言わず、嫌な顔もせず、同じようにランドセルを持ち笑顔で登校した。

まゆちゃん 18

家族の分かち合い
作:多々/画:miho



(本作品は、全て本職員でつくられています)

可児ぬくもりネットだより

今週のビタミンから

(本センターホームページ)

初夏のはじめに

今週の話題
発行日: 2013年5月16日

「目」に青葉、山ほととぎす、初がつお (山口素堂: 江戸中期の俳人の有名な句を口ずかす)。

森や山の木々の若葉が青色に染まり、山ではホトトギスが鳴き出すこの頃、黒潮に乗り北上する鯉の若き溢れる味覚が伝わってくる句である。目で視て、耳で声を聴いて、舌で味を確かめる。これらの季語が3つ入っていて有名な句である。

また同時代の俳人で宝井其角の初夏の句に、「ホトトギス」がある。「あの声で、トケ食つか、時鳥」という句がある。ホトトギスの声は、ウグイスの声のように澄んではないが似ている。ウグイスの巢に卵を生みウグイスに育ててもらった習慣があることから、基角は、声とやる事が違いすぎる、見かけにちがいないものとして詠んでいる。

人も外見で判断してはならない、意外な二面を持ち合わせているもの。思いもつかなかった才能や良きを見つけた時ほど嬉しいものはない。

人は、良いものを見いだせれば自らの必要性が増し開花して、高みに登っていくものである。その時々目で見ても、耳で聴いても、人の能力を確かめて初めて分かるものである。

(世に無いものをつくることは、励みであり、やりがいのあるものである。)
人生、渡り鳥のように、多くのことを経験しながら生涯を終えるもの、人は心動かされる出会いにより、共に良き大きな充実感とつながりがある人生を送れるものである。

啓発のひかり

★春から夏に向かうのが万物に活動のときである。

この世に生を受け、命の長短もかわらず、人など眼中になく一途に子孫繁栄のため動き始める時である。

★吉野弘(詩人の作品)「Was born」の中で蜻蛉が2〜3日で死ぬが何のために世の中にでてくるかと。解剖してみても驚く「口は全く退化して胃の中も空っぽ、ところが腹には卵が充滿していつか胸まできつり」と及んでいた「目まぐるしく繰り返される生き死にの悲しみが、咽喉元までこみあげてくるように見えるのだ」である。

★精杯の自らの役割(使命)を担い、懸命にその時々を生きることの意味は何かを問うていた。人も万物も生れ出たことを選べない。だから「絶対的の権利」を言えるのであ

★すべてのものが違いを持っているがゆえに互いを補えるのである。

人権も自分からの出発であり、差異からの出発「と言えぬのではないだろうか。」

人生は、幸せ獲得の活動であるから、互いに生きることが大切なのである。

(編集者: 川手晴彦)